

JAとりで通信

第331号 2018年4月27日



発行 JAとりで総合医療センター 〒302-0022 茨城県取手市本郷 2-1-1 E-mail: toride@medical.email.ne.jp 発行人 新谷 周三
TEL 0297(74)5551 (代) URL http://www.toride-medical.or.jp/

LEADER

NEW

リーダーに 聞く

社会福祉部責任者の三枝さん（社会福祉士21年目）にお話を伺いました。



社会福祉部 責任者
三枝 隆生 さん

各所に社会福祉士を配置

私たち社会福祉士は、社会福祉の立場から患者さんやその家族の方々の抱える経済的・心理的・社会的問題の解決、調整を援助し、社会復帰を支援する業務を行なっています。医療福祉相談室（東棟3階）には、

社会福祉部が行っている相談支援のうち、約7割以上が退院支援になります。急性期治療が一段落されたあとの転院支援や在宅支援です。転院支援では、リハビリや療養が受けられる医療機関や介護施設等の紹介や転院調整、在宅支援では地域のケアマネージャー等と連携し、自宅生活での生活環境や介護等の支援が

療養生活に 心配があれば相談を

社会福祉士が8名おり、外来と病棟ごとに担当を決めて対応を行っています。

今後への 架け橋になるように

定期的な近隣の医療機関や行政、ケアマネージャー等との情報交換を行い、スムーズな退院支援や社会資源が活用できるように連携を行っています。

受けられるよう紹介や調整を行っています。また、安心して医療や介護が受けられるよう医療保険制度や介護保険制度、障害福祉や難病の福祉制度の紹介や、介護タクシーや配食サービスなどの紹介なども行っております。相談費用はかかりません。

す。患者さんにとっては、病气や怪我などにより、入院前と同じ様な生活を送れるか不安のある方も多いと思われれます。病气や障害を抱えていても、地域の様々な社会資源に繋ぎ活用する事で、安心して生活が送れるよう支援していきたいと思っております。そのため、患者さんやご家族にも、ご理解や支援をいただく場合があります。

できるだけ、患者さんやご家族に近い存在でいられるよう心がけながら、今後の生活への架け橋になるよう努めて行きたいと思っております。

平成30年度入会式を挙行

地域医療を担う基幹病院の一員として

～ 87名の新入会者に辞令交付～



辞令を交付する新谷院長

平成30年度の入会式が4月2日に行われ、医師40名（うち研修医13名）、看護師37名、コメディカル10名、計87名に対し新谷院長から辞令が交付されました。新谷院長は訓示で、「当院は、千葉県北西部から茨城県南部の53万人を医療圏とする救急基幹病院として地域の

医療を担っている。取手市の高齢化率は約32%と全国平均を上回っており、当院の役割が大きいことを自覚して入会された皆さんも診療や看護にあたってくださ」と述べました。

入会式後の院長講話では、当院の患者数や救急車受け入れ台数などをグラフで示し、当院が日本の公的3病院団体（日赤病院、厚生連病院、済生会病院）のひとつであること述べました。



院長講話の様子



大村建二先生

今井泰平医師

3月24日、第56回栄養サポート研究会が当院の新棟3階講堂で開催され73名が参加しました。

第56回 テーマ 「リハビリテーションと栄養管理」 栄養サポート研究会を開催

当番世話人のJAとりで総合医療センター内分秘代謝内科部長の今井泰平医師の挨拶で開会し、一般演題では、人工知能の応用や、リハ栄養を見据えて多職種で協同した症例の報告、また茨城県南の「栄養地域医療連携の会」の活動等について発表されました。

特別講演では、「リハビリテーションと栄養管理」術後の身体機能低下防止の取り組み」と題して上尾中央総合病院、栄養サポートセンターセンター長で外科診療顧問・腫瘍内科診療顧問を兼任されている大村建二先生が講演されました。栄養の指標として体重が最も信頼できることや、病院食のカロリーや食事指導の問題点などについて分かりやすく講演され、展示等のコーナーにも多くの方がみえていました。



展示コーナーの様子

院内保育所から お誕生日おめでとう

高橋 若菜 (たかはし わかな) さん

3さい

平成27年4月27日生まれ



3歳のお誕生日おめでとう。お姉ちゃんと一緒に歌うことが大好きな若菜ちゃん。最近はお母さんのお手伝いをたくさんしてくれて、お姉さんになってきましたね。これからも、元気で優しい若菜ちゃんいてね。・・・お母さんより

水本 龍誠 (みずもと りゅうせい) くん

3さい

平成27年4月28日生まれ



お手伝いをたくさんしてくれて、妹を思いやってくれる優しいお兄ちゃん。これからも妹と仲良く元気に遊んでね。大好きなトラクターとバックホー、また乗りに行こうね。3歳のお誕生日おめでとう。・・・お母さんより

水本 京花 (みずもと きょうか) さん

1さい

平成29年4月25日生まれ



いつもニコニコと、とても愛嬌のあるきょうちゃん。お兄ちゃんと遊ぶのが大好きで、2人で元気いっぱい遊んでいます。これからも元気いっぱい、素敵な笑顔を見せてね。一歳のお誕生日おめでとう。・・・お母さんより

栄養だより (7)

腸すっきり 便秘解消

栄養技師部長 唯根 理子

からだの中で腸は、どんな働きをしているのでしょうか？

腸は栄養素を食べ物から吸収して、不要なものを外に排出しています。この働きを腸は繰り返しておこなっています。この働きがなくなると、必要な栄養素が吸収されにくくなり、老廃物が腸内でたまりやすくなります。腸は、生きるためのエネルギーを吸収するだけではない

く、さまざまな外敵からからだを守る免疫力などによって、私たちを支えている重要な臓器なのです。私たちが生きていくうえで腸の働きはなくてはならないものです。いままでの食生活を見直し、腸を元気にしていきましょう。

バランスのよい
食事をとりましょう

栄養が偏ってしまうと、腸内の環境もバランスもみだれやすくなります。いろいろな食品をとり入れ腸内のバランスを保ちましょう。



乳酸菌を
とりましょう

乳酸菌には、腸内環境を整える働きがあります。乳酸菌を含む食品を毎日の食事にとり入れて、腸内環境を整えましょう。

●動物性乳酸菌を含む食品
ヨーグルト・チーズなど



●植物性乳酸菌を含む食品
みそ・しょうゆ・大豆製品など



食物繊維を
とりましょう

食物繊維には、腸内のそじをしてくれる働きがあります。腸内が汚れていると栄養の吸収もしくくなり老廃物もたまりやすくなります。水にとける水溶性食物繊維は乳酸菌などの善玉菌のエサになり、とけにくい不溶性食物繊維は腸内で便のかさを増やします。

●水溶性食物繊維を含む食品
野菜・海藻・きのこ・豆・果物など



●不溶性食物繊維を含む食品
野菜・豆・芋・穀類など



腸は第二の脳ともいわれ、ストレスによるダメージを受けやすい敏感な臓器です。かかえているストレスを解消することも、腸内環境を改善する大切なポイントになります。いろいろな食品を毎日の食事にとり入れて、腸を元気にしていきましょう。



今回は『脳の老化を防ぎましょう』についてお話ししたいと思います。

坂元医師の出前講座

お母さんが知りたい男の子の話 ～はじめまして！小児外科医です～

講師 JA とりで総合医療センター

小児外科 科長 坂元 直哉 医師

日程

5月25日 (金) 10時30分～
東部地域子育て支援センター
TEL 0297-72-3030

7月12日 (木) 10時30分～
藤代地域子育て支援センター
TEL 0297-83-8831

6月29日 (金) 10時30分～
白山地域子育て支援センター
TEL 0297-73-2277

●取手市内在住の方が対象ですのでご了承ください。



●全日程とも同じ内容です。6月29日と7月12日は事前の申し込みが必要ですので、各地域子育て支援センターへお問い合わせ下さい。